学校だより　第４２４号　令和５年　１０月号

牧小だより

子供のよさを見つけ、引き出し、つないで拓く

↑行事写真をご覧いただけます

■運動会スローガン

一人の力　みんなの力
最後は必**笑**
～牧小１５０年の絆をつないで～

運動会の取組が始まっています。各学年から選出された運動会リーダーが集まり、スローガンについて話し合う時間がありました。各学年から提出された意見を基に話し合いが進みました。どの学年からも、「７４人、仲間、がんばる、全力、協力、助け合う、あきらめない、最後まで力をふりしぼる、楽しむ、笑顔、勝ち負けに関係なく、思い出に残る最高の運動会にしたい」という願いが共通しており、高学年の運動会リーダーがこれらの意見をとりまとめて牧小１５０周年の運動会のスローガンをまとめました。子供たちがこんな思いをもっているのだと微笑ましくたのもしい思いを感じながら話し合いに参加しました。このスローガンには、７４人の一人一人が力を出して競技や演技をがんばり、７４人の子供と地域のみなさんの力を合わせ、勝っても負けても力を出し切った充実感・達成感を味わって最後にはみんなが必ず**笑**顔で終わりたいという願いが込められています。

小規模校である牧小学校で学ぶメリット・デメリットについては、多くの方が感じておられるところです。今回、子供たちのスローガンを創り上げる過程を見て、改めて牧小学校の強みを実感しました。子供たちは学校生活で、一人一人を大事にしよう、大事にするべきだ、みんなの力を合わせよう、合わせれば大きな力になる、（勝てばうれしいけれど）やり切れば笑顔になれるということを体感しているように思います。それは、自分自身の経験からであったり仲間の姿からであったり、近くの大人から聞く話からであったりすると思います。牧小学校は、永く地域の方や保護者の方の力をお借りした教育活動を進めています。積み重ねられた底力が、しっかり子供たちにつながっていることを感じました。

今年の運動会は、サブスローガンに“牧小１５０年の絆をつないで”として、１５０周年記念行事として行います。昨年度、多くの方にご参加いただいて子供たちと一緒に運動場に入り、大人が子供たちと一緒に真剣に玉入れをし、子供たちが「もう１回」とリクエストした姿が印象的でした。子供たちにとって大人と真剣勝負をした楽しさがエネルギーとなり、大人から子供へのプレゼントになりました。今年も、大人たちから子供たちにプレゼントを届け、さらに一歩、絆をつないでいきたいと思います。みなさんのお力を貸してください。

■落ち葉掃きの道で徐行してくださる車

今年は突然の強い雨のせいか暑さのためか、いつもよりも早く落ち葉掃きが必要になりました。

先日、校庭沿いの通学路の落ち葉掃きをしていたときのこと、通行される乗用車が徐行してくださいました。はじめは真意に気付けませんでした。わたしは道路の隅に移動していましたし一輪車も通行の邪魔をしていなかったからです。少し考えた後、運転手さんが集めた落ち葉の山が走行の勢いで舞い散らないようにという瞬時の判断をしてくださったことや落ち葉の山を作り終えたわたしへの心遣いだと理解できてうれしくなり、その後の落ち葉掃きに一層力が入りました。この運転手さんにとっては何気ないことだったのでしょうが、わたしには大変うれしく感じる出来事でした。きっと牧小学校の子供たちは、このような環境の中でおだやかに温かく見守られて育まれているのだろうと改めて感じました。

■２０２３年度は牧小学校創立１５０周年　その⑫

ご案内のように、１０月１４日（土）は岐阜総合学園高等学校太鼓部のみなさんの演奏会を計画しております。太鼓を打つ若者の力強い姿は、子供たちだけでなく大人もエネルギーを受け取るものです。ぜひ地域のみなさんにも楽しんでいただきたいです。お時間が許せば、みなさんお誘い合わせでご来校いただき、１５０周年記念行事を盛会にしていただければ幸いです。お待ちしております。

校長　古市諭香